資料１

セミナー講師紹介

引用元：国土交通省発行 Grasp

牛山　素行

（うしやま・もとゆき）

静岡大学防災総合センター　教授
東京大学大学院情報学環総合防災
情報研究センター　客員教授

プロフィール

長野県生。信州大学農学部卒業。東京都立大学客員研究員、京都大学防災研究所助手、東北大学災害制御研究センター講師、岩手県立大学総合政策学部准教授、静岡大学防災総合センター准教授などを経て、2013 年より静岡大学防災総合センター教授。博士(農学)、博士(工学)。専門は災害情報学。風水害、特に豪雨災害を中心に、人的被害の発生状況、災害情報の利活用、避難行動などの調査研究に取り組む。内閣府、国土交通省、気象庁、総務省消防庁、地方自治体の各種委員を歴任。日本自然災害学会副会長。

歴任した主な役職等(**※これまでの主要なもので、現職ではありません**)

内閣府：　内閣府防災研修コーディネーター、令和元年台風 19 号等による災害からの避難に関するワーキンググループ委員、避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン検討会委員、防災スペシャリスト養成研修企画検討会委員など

国土交通省：　水害・土砂災害に関する防災用語改善検討会委員、土砂災害対策の強化に向けた検討会委員、東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議委員、(岩手河川国道事務所)災害情報協議会アドバイザーなど

気象庁：　防災気象情報に関する検討会副座長、防災気象情報に関する検討会サブワーキンググループ座長、地方公共団体の防災対策における気象情報利活用検討会委員長、洪水及び土砂災害の予報のあり方に関する検討会委員、「気象防災専門家育成」の実施に関する専門アドバイザーなど

消防庁：　地方公共団体の危機管理に関する懇談会委員、防災・危機管理セルフチェックシステムにおけるチェック項目策定に関する検討会座長代理、突発的局地

的豪雨による土砂災害時における防災情報の伝達のあり方に関する検討会委員など

都道府県：　住民避難実効性向上検討委員会委員長(静岡県)、津波災害警戒区域指定検討委員会委員(静岡県)、太田川・原野谷川事前防災行動計画検討会委員長(静岡県)、紀伊半島大水害記録誌編纂アドバイザー(奈良県)など

市町村：　袋井市津波被害軽減対策検討会委員長、牧之原市命を守る防潮堤検討会委員、広島市 8.20 豪雨災害における避難対策等検証会委員、陸前高田市東日本大震災検証委員会委員、陸前高田市防災会議委員、西予市防災会議専門委員など

学会：　日本自然災害学会副会長、日本災害情報学会理事、日本災害情報学会学会誌編集委員会委員長など

著書

牛山素行：「防災に役立つ地域の調べ方講座,古今書院,2012。

牛山素行：豪雨の災害情報学 増補版、古今書院、2012。

各地での講演*

- 内閣府防災スペシャリスト養成研修、気象庁気象防災アドバイザー育成研修、消防庁全国防災・危機管理トップセミナー、防災気象講演会(静岡など各地)、静岡県防災士養成講座、長崎県防災推進員養成講座、島根県自主防災リーダー研修会、福井県防災士養成講座、陸前高田市防災マイスター養成講座、国土交通大学校土砂災害防止対策研修、全国建設研修センター研修、全日本建設技術協会講習会、静岡県消防学校消防職員幹部教育、都道府県・市町村主催の防災講演会など。

新聞報道･テレビ等出演

- 2023 年度　テレビ、ラジオ出演：約 40 回、新聞報道：約 85 件
- 2022 年度　テレビ、ラジオ出演：約 30 回、新聞報道：約 50 件
- 2021 年度　テレビ、ラジオ出演：約 65 回、新聞報道：約 85 件

関連 Web

最近の活動について

https://note.com/disaster_i/

研究業績、各種報道などの詳細

https://researchmap.jp/read0193057